

各位

会社名 株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイド
 代表者名 代表取締役社長 伴 将行
 (コード番号 4436 東証グロース)
 問合せ先 ファイナンス&ストラテジー本部 執行役員 前田 陽介
 (TEL: 03-6274-6493)

業績予想の上方修正及び本社移転にかかる特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、2026年3月期の通期連結業績につきまして、決算確定作業の最終段階における精査の結果、2025年10月30日に公表いたしました2026年3月期の通期連結業績予想を上回る見込みとなったため、下記の通り修正するとともに、本日開催の取締役会において、本社移転にかかる最終的な決議を行ったことに伴い、当該移転関連費用について特別損失等を計上することとなりましたのでお知らせします。

1. 業績予想の修正について

(1) 当期の連結業績予想数値の修正 (2025年4月1日~2026年3月31日)

	連結売上高	EBITDA	連結 営業利益	連結 経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 連結当期 純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A) (2025年10月30日発表)	8,800	1,300	400	250	350	23.15
今回修正予想 (B)	8,780	1,436	549	412	730	47.89
増減額 (B - A)	△19	136	149	162	380	24.74
増減率 (%)	△0.2	10.5	37.4	65.1	108.6	106.9
(参考) 前期連結実績 (2025年3月期)	10,548	△711	△1,911	△1,993	△5,525	△368.79

(2) 修正の理由と業績概況

前回公表 (2025年10月30日公表) の業績予想では、上半期の上振れのみを反映した期初計画に対しての上方修正を行い、下半期 (2025年10月1日~2026年3月31日) は期初計画を据え置いておりましたが、下半期もソリューション事業・メディア事業ともに売上高が概ね堅調に推移したことに加え、効率化施策も想定以上に進展し、上半期同様に各段階利益が期初計画を上回る見込みとなりました。これらを要因とした連結営業利益、連結経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益の前回公表からの上方

修正となります。

なお、親会社株主に帰属する当期純利益におきましては、前連結会計年度末に実施した事業ポートフォリオの見直しや、既存事業アセットの活用による収益最大化およびAIを含むテクノロジーを活用した新たな事業展開による収益基盤の安定化および成長性の向上を踏まえ、繰延税金資産の回収可能性を見直した結果を反映しております。

2. 特別損失等の計上について

当社は2026年2月13日公表の2026年3月期第3四半期決算短信で公表しておりました将来の費用面での効率化を目的とした本社移転方針に基づき、本日開催の取締役会において、2026年7月に本社移転することを最終的に決議いたしました。これに伴い、2026年3月期第4四半期連結会計期間におきまして、既存本社オフィス関連固定資産の加速度償却費として31百万円を営業費用に、また現行オフィスの原状復帰費用、新オフィスと既存オフィスの重複期間に相当する賃料、並びにその他一時的に発生する移転関連費用の引当として123百万円を特別損失として計上することとなりました。なお、詳細につきましては本日公表の「本社移転に関するお知らせ」をご参照ください。

以 上